



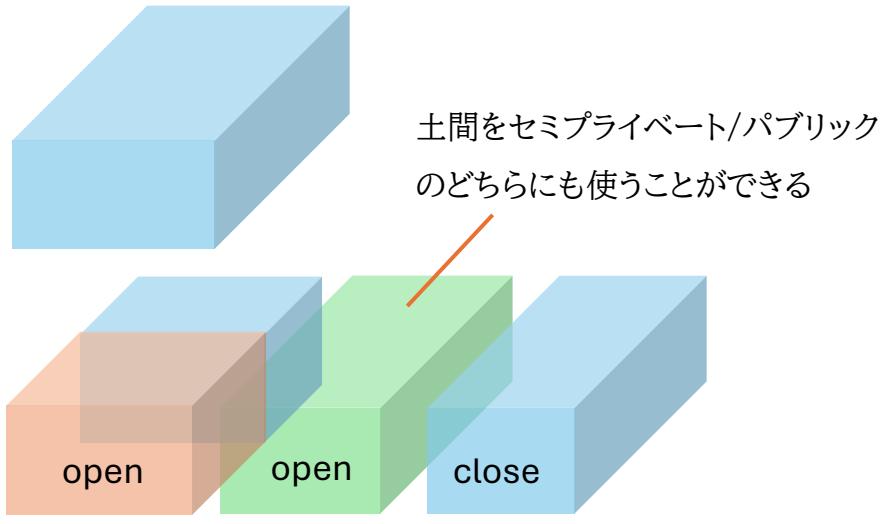
土間がもたらす「つながり」



夜間は家族で夜空を楽しむ暖かい空間に。



1. Diagram



2. 生活形態の変化におけるニーズ

ダイアグラムでも示しているように、簾戸によって地域社会に対する開閉を調整できるからといって、内全体がオープンになるわけではない。ただ、その閉鎖的な空間がもたらす面は多様である。例えば、可動式の収納ベッド又は布団を設ければ、子の成長を見守れる。また、それら過程を経て、夫婦別の就寝空間を確保できる面もある。



引き戸を全開すると、外庭型の住宅のような雰囲気。

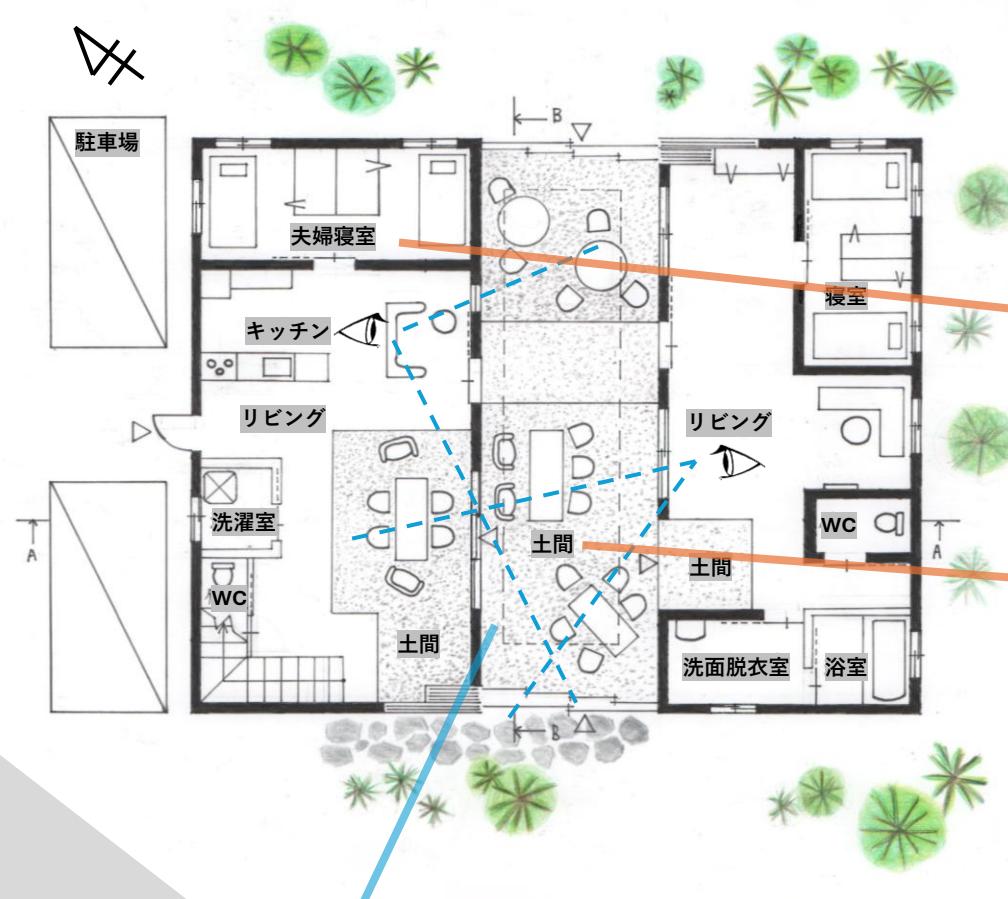
土間と庭(屋外、地域社会)の境目にあたる簾戸(引き戸)によって地域社会に対しての開閉をコントロールが可能であり、昼間と夜における家の表情が大きく一変する。



引き戸を全閉すると、中庭型の住宅のような雰囲気。

3.古今の顔で、街に溶け込む

簾戸(すだ): 風を程よく取り込み、夏季を快適に過ごせる
 ガラス戸: 簾戸との二重により遮熱性の向上



対なる空間から視線が重なり合い監視性を高める
 ≡防犯性の向上



土間を外廊下で東西に、「家族がくつろぐ空間」と「社交空間」
 に分割することで用途豊富な空間が形成される



自転車や棚、下駄箱等を置ける

子供の小さな遊び場

家族や親戚等が集い、
 交流の場を作れる